

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 13 こころのよろこび	讃美歌 494 わが行くみち
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 出エジプト記 16:13~15	黙 禱
ヨハネによる福音書 6:48~51	主の祈り 564
讃美歌 312 いつくしみ深き	讃 詠 546 聖なるかな
説 教 『何じゃこりゃ／mana』	祝 禱 後 奏

イスラエルの民がエジプトを脱出した時、明日の希望に満ちていた。しかし荒れ野で食糧不足に陥ると不平をもらす。「我々はエジプトの国で、主の手にかかって、死んだ方がましだった。あのときは～パンを腹いっぱい食べられたのに(出エジプト16:3)。「自由よりも奴隷のパン」という不平不満も、ある種の祈りだったのか。この不平は神に聞き届けられる(16:12)。朝露が蒸発すると霜のような薄い物体になり(16:14)、「イスラエルの人々はそれを見て、これは一体何だろうと、口々に言った(16:15)」。

「何じゃこりゃ／mana huh」という言葉がそのまま「mana」という食べ物の名になった(16:31)。奇跡とは「何じゃこりゃ」と驚くこと。パンの代用品が天から降ったからではなく、そこにある未知の物体を見て、「何じゃこりゃ」とビビッと来たことが奇跡なのだ。民の関心は奴隷のパンだったが、そこから転換した奇跡。荒れ野で目の前にあったものを新たに発見し「mana」と名付ける。これこそ神の霊の具体的な働きではないか。超常現象などではなく、現実を新たにきり開く聖霊の御業だ。

manaは「ユエンドロの種に似て白く、蜜の入ったウェファースのような味がした(16:31)」。これが何かは不明だが、妙にうまそうだ。民は40年の旅の間このmanaを食べた(16:35)。「何じゃこりゃ」と驚き、一歩先へ踏み出さなければ旅を続けられなかった。だけれども、自分が食べる量以上にmanaを集めようしたり(16:20)、抜けがけして安息日に収穫しようとしてもダメだった(16:27)。神は民に、既存の領域から一歩踏み出すことを求めたが、分かち合うべきパンを独占する強欲を許さなかった。

ガリラヤの山で少年のパンと魚を(ヨハネ6:9)、イエスが配り给予すると5千人が満腹した(6:11)。山の草地に座った者の内(6:10)、袋にパンや魚を持っていた者が、喜びをもって供出したからだ。荒れ野を彷徨する民も「何じゃこりゃ」と驚き、そこから一歩を踏み出し、manaを分かち合ったからこそ旅が続けられ、約束の地に辿り着くことができた。それを実現させる神の配慮は実にきめ細かかった。特定の者がmanaを独占しないように、祈りの時である安息日に皆を出し抜いてmanaを集めないように。

「わたしは命のパンである(6:48)」、「これは、天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない(6:50)」。イエスが命のパンだという事は、まあなんとか分かる。それでは「それを食べる」とはどういうことか。イエスはさらに重ねて言う。「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる(6:54)」。比喩だとしてもこのグロテスクな表現は弟子たちをも幻滅させた。「弟子たちの多くの者はこれを聞いて言った。[実にひどい話だ。だが、こんな話を聞いていられようか] (6:60)」。それでは実際、イエスというパンをどう食べるのか。

私たちは聖餐式でキリストの体たるパンを食べ、キリストの血たる葡萄酒を飲む。聖餐式は、私たちをあのガリラヤの山へ連れ出す。そこで私は自分の袋にある一人分のパンを、パンを持たない隣人と分かち合う。するとどうだろう。前と後ろにいる隣人から、パンが私に手渡されるではないか。

聖餐式はその徴。私たちは日々、隣人と「生きたキリスト」を対等に分かち合う。「わたしは、天から降って来た「生きたパン」である。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる(6:51)」。漫然と永遠を生きていくのではない。「何じゃこりゃ／mana」と驚き、一歩、また一歩と、踏み出し続ける永遠。

驚きは問いとなる 問いは 新しい一歩となる キリストの永遠はここに留まっていないのだから
満腹はパンの量で決まるのではない 一歩踏み出さない者は 怯えて委縮し まだ集めようとする

本日礼拝後に役員会。カレーの日です。どなたでも遠慮なくお召し上がり下さい。11/9(土)1:30~3:00 聖研・祈祷会。牧師の動き:11/6(水)YMCAで聖書のおはなし(「いき」の印刷とモノ・コト交換)。
礼拝堂・集会所の住所:408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3
連絡・問い合わせは牧師へ:408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008
eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。